



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No. 23

2010.12.15 (No.2620)

第2560地区ガバナー／東山 昕也
 会長／樺山 仁
 会長エレクト／山田 富義 (クラブ奉仕A)
 副会長／杉山 幸英 (クラブ奉仕B)
 幹事／明田川 賢一
 S A A／若槻八十彦
 会計／松永 一義

例会日／毎週水曜日 12:30～
 例会場及び事務局／
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (へはshiftを押しながら“へ”のキーを押してください)

- 本日の出席会員数:54名中29名
- 先々週出席率:72.00%

【ヴィジター】

三条南RCより
 ・坪井正康さん

【先週のメイクアップ】

- [12.9] 三条ローターアクトへ
 ・明田川賢一さん、成田秀雄さん
- [12.14] 分水RCへ
 ・渡邊喜彦さん



「地域を育み、大陸をつなぐ」

2010～2011年度国際ロータリーのテーマ

「シクラメン」



会長挨拶

樺山 仁 会長



御挨拶致します。

雪の便りも聞こえ、冬山登山のシーズンも近づいて来ました。凜と身が引き締まる冷気の中、一面に広がる銀世界は、多くの登山者を魅了し続けております。アルプスの山々は、今年も多くの登山客で賑わう事でしょう。

しかし残念な事に、山の事故のニュースが多く伝えられております。今年だけでも、沢登りをしていたワンダーフォーゲル部が鉄砲水に襲われたり、高齢者の滑落事故などが発生しております。

原因は事前の気象などの情報入手不足、装備不足、計画の甘さとの事です。ちょっとした不注意で、楽しいはずの行楽が一転します。山に行かれる人は、十分な装備と計画と情報を持って、安全に自然を満喫して頂きたいと思えます。

特に冬山登山は、特別に注意が必要です。

昭和32年1月、私が大学3年の時、学校の創立80周年記念行事で、朝日新聞社後援で、北海道 知床に最冬に縦走した時、これは最冬の北海道ですから、-10度は当たり前ですが、カメラとスキー板を背負って3日間の北海道に行った経験から、冬山の天気は瞬時に変化し、気温が下がり、視界が悪くなり、前に進む事が出来なくなる状態でした。カメラのレンズ、シャッターは無論の事、フォーカルプレーンシャッターが全く動かなくなってしまい、冬山の写真が撮れず、残念な事が思い出

されます。

山の事故は家庭に心配を掛けるだけでなく、世の中にも迷惑を掛ける訳です。登山には心して注意が肝要です。

今日は、冬山登山について考えました。

挨拶を終わります。

次週はクリスマス例会となります。よろしく御出席願います。

幹事報告

明田川賢一 幹事

- ◎三条ローターアクトクラブより、12月第二例会ご出席のお礼状が届いております。
- ◎次週22日(水)は、いからしの里へサンタクロースの訪問です。ご出席の方は宜しくお願い致します。
- ◎次週22日(水)は、夜例会「ファミリークリスマスパーティー」です。お間違えのないようお願い致します。
- ◎次々週29日(水)は、年末につきクラブ休会となります。新年は、1月5日(水)クラブ休会、12日(水)より通常例会となります。

ニコニコBOX

坪井正康 様 (南RC)

いつもお世話になっております。本日は本当に久しぶりにメイクアップにお邪魔しました。今後共よろしくお願い致します。

渡辺さんの卓話楽しみにしています。

樺山 仁さん

いよいよ雪と友達になる季節となりました。スリッパしない様に気をつけて下さい。

本日の渡辺さんの卓話に期待しております。

渡辺勝利さん

卓話聞いていただき光栄です。

中村光一さん

先週卓話が終わってホッとしております。今週はすごく気を楽しんで出席させていただいています。

小出子恵出さん

ついに雪の季節になりました。転倒しませぬように。渡辺さん卓話を楽しみにしています。

荻根澤隆雄さん

渡辺勝利さんの卓話楽しみに致しております、又ご苦勞様です。

いよいよ白いものが降りました。皆様お大事に!!

平原信行さん

12月初の雪の日、自宅の駐車場消雪がはいっておらず、これからが大変です。

渡辺勝利会員、卓話ご苦勞様です。

佐野勝榮さん

初雪です。

渡辺勝利さんの卓話楽しみにしています。

中村和彦さん

今日はどうな話を聞かせていただけるか、渡辺さん、楽しみにしています。

川瀬康裕さん

都合にて早退させていただきます。

捧 賢一さん、 斎藤弘文さん、 小越憲泰さん
金子俊郎さん、 山田富義さん、 熊倉昌平さん
石橋育於さん、 松永一義さん、 会田二郎さん
丸山行彦さん、 若槻八十彦さん、 高橋 司さん
明田川賢一さん、 船越正夫さん、 五十嵐浩さん

渡辺勝利会員、本日は卓話ありがとうございます。
楽しみにしております。

12月15日分

¥26,000

今年度累計

¥530,000

1月のお祝い

◎会員誕生祝

- 1日 野崎喜一郎さん
- 11日 五十嵐昭一さん
- 11日 五十嵐晋三さん
- 20日 小越憲泰さん
- 23日 丸山行彦さん
- 24日 川瀬康裕さん
- 27日 樺山 仁さん
- 27日 野水文治さん

◎夫人誕生祝

- 16日 山田幸恵さん (富義さん)
- 17日 浅野ちか子さん (金治さん)
- 27日 渡辺美代さん (勝利さん)

◎結婚記念祝

- 7日 捧 賢一さん (ミヨエさん)

◎100%出席賞

- 28年 五十嵐晋三さん
- 27年 五十嵐昭一さん
- 22年 斎藤弘文さん
- 19年 石橋育於さん
- 2年 松永一義さん

卓 話

渡辺 勝利 会員

世域を育み
大を つ



去る11月10日 三条ロータリー会員の有志の方々から 過分な慰労会を催して頂き又荻根澤会員から 卓話の依頼があり 今日卓話をお引き受けさせて頂きましたが 話の的が定まらない俣に今日になって仕舞いました。

先週の中村会員の卓話の日が 12月8日で 67年前の太平洋戦争突入の日 でしたが、私が生まれた昭和12年は 盧溝橋事件に端を発した 日中全面戦争開戦の年として、私の名前が 柄にも無く 勝利と国家の為に 付けられ 「ルーズベルト・チャーチルをやっつける」の漫画を見て育ち、もう73歳になってしまいました。満7歳で終戦を迎え 以後食料難を始め ものの無い時代に成長し、神武景気 イザナギ景気 平成バブルの崩壊、リーマンショックに拠る不況の時代を経て 今日を迎えました。

その間9年間もの長い間 思いもよらず三条商工会議所の会頭をさせて頂き それはこれまでの周囲の皆様のご支援のお陰であり 感謝の気持ちで一杯です。その間 当時の松谷会長からは出席免除の御高配を賜り 今更ながら本当に喜んでおります。

私の任期中は どちらかといえば日本の失なわれ行く20年の 底を這うような厳しい時代が多く続き 今も国際競争のただなかで 円独歩高 という多難な経済の中で 企業の海外移転の影響による雇用の確保への不安等など 問題山積の難しい時代です。

私も会議所の財政基盤強化や各種改革に向けて 色々な施策に着手実行してまいりました。会費改定 見直し制度の変換 市からの補助金大幅増額 中国研修生受け入れ事業の他組織への移管 市からの借地部分の買い入れ 受付の新設 毎日の銀行通いの廃止 事務受託団体の費用負担のありかた変更 使用駐車場の全面舗装の実現と職員駐車場の確保 商工会議所青年部の立ち上げ 全職員の業務にパソコンを活用 タイムカードの導入 書庫の整理 空調設備の改良 喫煙場所の設置 公認会計士の監査導入 ISOの導入 万燈神輿の作成 設備協同組合の設立 伝統産業地域指定取得への支援 サービス残業廃止と大幅残業減 パート職員の採用 70周年記念誌発行など 中には多くの反対を押し切ったものも色々ありました。その間 K課長による事務受託団体の公金使い込み事件 最後はI副会頭の市長選に絡む辞表提出事件もありましたが、今は 次を引き受けて頂く体制も始まり ほっとしている心境

です。

ほっとし過ぎて 先日のロータリーの黒部旅行の時などは 調子に乗って飲みすぎ 同室の樺山会長や石橋会員には すっかりお手数を掛けてしまいました。お陰さまでゴルフのスコアでも自分でも驚く程 良い時があり 無意識のうちにも「肩の荷が降りる」とはこんなものなのか と感じる今日この頃です。

さて 先日 来年の手帳が届き、今年の手帳を書き写しながら差し替えの準備をしていましたら、手帳の最後のメモの頁に色んなことが書いてあるのに 気づきました。毎年1月15日にVIPで開かれる会議所の「新春の集い」にご挨拶させて頂くのに 日頃ネタを求めて書き留めていたものでした。もうこのメモは無用の物となりましたが 今日はその一部を皆様に披露させていただき 今日の卓話のネタにさせてもらうのも良いかと 自分勝手におもいました。暫くお付き合いの程を おねがいたします。

1つ目は ユニクロの柳井社長の言葉です。「折角のグローバル経済ですよ。活用しなければ 日本はマーケティング能力が低い。巨大な事業機会は中間層 低所得層にあります。」この言葉は 昨今のユニクロの快進撃を見ると頷ける言葉ですね。

2つ目は 今年の日本のノーベル賞受賞者 鈴木章 北海道大学名誉教授や 根岸栄一米国パデュー大学特別教授のことも然りながら、中国の民主活動家 劉曉波氏の受賞に反対する海外他国の欠席が20ヶ国にも及びそうだと報道には 正直驚かされました。私のメモには ノーベル賞研究部門受賞者は今まで全体で80人居られ その内の300人が米国 日本は15人 (先日の新聞では18人となっていましたから 今回の2人と其の前の下村修博士が入る前ということになるわけですから この情報は十分古いものだと判りましたが) ドイツが80人 イギリス100人 フランス50人とあり、又それぞれの国の研究費は米国44兆円 日本18兆円 ドイツ8兆円 イギリス4兆円 フランス5兆円とありました。使った研究費や受賞人数がバラついており、特に日本のバランスが 際立って悪いと思いました。

3つ目は 誰の言葉かの記載はありませんが 「日本人は未来を失いつつある。諦観と懐疑がこの国を覆い、未来を語る雰囲気さえ どこかに消え去った。暗い未来に萎縮している。」と言っている とありました。

今 世界を驚かせているウィキリークスのジュリアン・アサンジ代表が、14歳までに 37回も転居し「支

配とは「陰謀だ」とか「公的教育は当局への不健康な敬意をうえつける。」などと言っている。とありました。

色々な考え方は 人それぞれ生まれ育った環境によって違うとは言え 私はこの言葉に反発を覚えました。

日本の人口ランキングは1950年5位 2008年10位 2050年には16位になると推測されるのだそうで、世界の総人口が67億5000万人から91億9100万人に増えると予測されているのに 情けないことです。

只 良い話もあります。日本には2つの財産がある。と言うのだそうです。1つは技術の蓄積がある。世界第2位の特許出願数がそれを示すのだそうです。2つ目は 1400兆円の個人資産があるからだそうです。2007年度の日本の海外現地法人16,732社のうち23%が中小中堅企業である。とありました。夢と希望は持ちたいものです。

商工会議所の機関紙「石垣」の12月号の“失われた20年”から抜け出せない経済の最も有効な処方とは？ 企業の実力高めること。既存の製品群だけでは消費を盛り上げることは難しい。どうしても 国際競争力を付けて、海外市場に活路を見出さざるを得ない。企業に高い税負担をかけ続けたり、労働市場の規制を強めたりすれば、企業の活力は阻害される。とありました。

皆さんも既にご存知のとおり 12月8日の新潟日報に三条の野島製作所が「中国の武漢で2012年2月に 自動車のシート枠の生産の為に操業を開始するべく 中国の企業との間で合併の契約に調印をした。」と出ていたことに勇気付けられました。

三条の為にも頑張りたいと願わずには居られません。

次週例会 12月29日 クラブ休会

次々週例会 1月5日 クラブ休会

